

## 第70回臨時総会開催

10月21日（金）社会福祉会館において第70回臨時総会が開催されました。議長に門脇義伸代議員（好文学園）を選出、岩井書記長が第1号議案（情勢）第2号議案（秋季年末の運動方針案）を提案。公費助成運動、「教育・職員」基本条例制定を許さない運動を、大阪府知事・大阪市長選挙のとりくみと結合させてすすめようと提案しました。

### ・予断を許さぬ私学助成削減の動き

私学助成国庫補助をめぐる情勢でいえば、民主・自民・公明の「3党合意」では高校無償化及び私立高校就学支援金の削減を前提とした見直しを明記しており、野田政権はこの「3党合意」を誠実に履行することを明言しています。文科省は2012年度概算要求で私学助成については増額要求をしていますが、東日本大震災の「復興財源」問題があり、予算削減の動きが予断を許しません。

岩井書記長は、このような情勢のもとで、全国私学統一の私学助成署名は私学就学支援金と国庫助成を守り、文部省概算要求実現の力になると強調、また大阪府においても橋下府政の経常費助成削減をくいとめ、配分方式改悪を実行させないために、公立教職員組合と共に大阪府議会宛て署名を大きく広げようと訴えました。

### ・2条例反対、私学助成拡充は大阪府政・市政の転換につながる

また教育と地方自治を破壊し、橋下・維新の会が府政・市政を支配するための条例である「教育・職員」基本条例をゆるさない取り組みを進めようとよびかけました。

2条例反対の世論を広げ、大阪府私学助成を守り拡充させるとりくみは、大阪府政・大阪市政の転換につながります。岩井書記長は11月27日投票となる大阪府知

選挙・大阪市長選挙の、大私教幼小中高専門学校部としての以下具体的運動を提案しました。

- ①大阪府政、市政について学習活動をすすめる
- ②梅田章二府知事候補、わたし考一大阪市長候補の推薦・支持決議にとりくむ
- ③ピラ配布、集会参加などにとりくむ
- ④財政確立のためカンパ活動にとりくむ

### ・近大泉州闘争勝利のために

近大泉州高校争議は不当解雇裁判は最高裁に、不当処分裁判は大阪高裁の和解協議と、法廷闘争は終盤に入っています。争議の解決にむけて、岩井書記長は①「最高裁要請署名」②「不当処分高裁宛署名」③争議の決着と労使関係の正常化、今後の学園民主化運動の課題としての府労委闘争④12月7日飛翔館支援共闘会議の成功の4つの課題を提案、成功を訴えました。

最後に岩井書記長は第120回大会で提案された「大私教規約改定と組織の再編について」（別掲）の、今後の旺盛な議論をよびかけました。

私学助成活動、争議、選挙運動など各代議員から意見が出され、特に小林千弘さん（本部執行委員・英真）は、現在の青年の置かれている状況と青年部のとりくみについて訴えました（2面）

活発な討論のあと議案は第3号議案（2010年度会計決算報告および2011年度補正予算案）を含め圧倒的多数で可決されました。

### ・多田さん、新役員に

役員補充選挙では多田晃さん（大阪電通大高校）が信任されました。多田さんは、就任あいさつで共に運動をすすめ、格差のない社会をめざすと決意を述べました。